明治大学グローバル COE プログラム【現象数理学の形成と発展】

第 16 回 現象数理談話会

GCOE Colloquium

2011 年 9 月 26 日（月）16 : 30 － 17 : 30

明治大学 生田キャンパス 第二校舎 A 館 2 階 A207 教室

自然渋滞はなぜ起きるか

坂東昌子　BANDO Masako

(NPO 法人知的人材ネットワーク あいんしゅたいん)

高速道路で、事故も発生していないのに、渋滞に巻き込まれた経験をお持ちの方は多いでしょう。実はこういう問題を最初に考察したのは寺田寅彦です。寺田寅彦は、社会現象も自然現象も共通の規則があることを見抜く鋭い目を持っていました。この寺田寅彦の考察を見直し、自然渋滞はどうして起こるのかを考えてみたのが「反応遅れを伴った最適速度模型」です。寺田寅彦の考察は、今、原子分子の世界から人間社会まで共通して理解する数理物理学という枠組みで研究されています。交通渋滞を通じて、このことを実感していただけるとうれしいです。

参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学生田キャンパスへのアクセス：
小田急線 「生田駅」から徒歩 10 分 又は「向ケ丘遊園」駅北口から「明治大学正門前」行きバスで終点下車
詳しくは、http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ をご覧下さい。

明治大学グローバルＣＯＥプログラム
「現象数理学の形成と発展」　拠点リーダー：三村昌泰
http://gcoe.mims.meiji.ac.jp/　※更新情報を RSS 配信しています。
問い合わせ先：明治大学教学企画部グローバル COE 推進事務室
Email : gcoe@mics.meiji.ac.jp